

働いてよし&暮らしてよし むらやまの企業

山形カシオ株式会社

東根市にある山形カシオ株式会社の若手社員、板垣祐樹さん・鈴木飛右馬さん取材しました！

板垣さんは山形大学工学部を卒業して2012年に入社し、現在は時計製造技術部要素開発課に勤務しています。

鈴木さんは日本大学工学部を卒業して2018年に入社し、現在は時計製造技術部時計生産技術課に勤務しています。

(1) 仕事内容編

——現在、どのようなお仕事をしていますか。

(板垣さん：以下「板」)

カシオ時計(ウォッチ)に関連する新規要素開発をしています。仕事と家庭の両立のため、現在子育ても頑張っています。



(鈴木さん：以下「鈴」)

治工具の手配、設備立上げ、設備メンテナンスや修理を担当しています。海外拠点の技術支援を行うマザーファクトリーの一員として、時計の生産設備に携わっています。海外拠点との関わりのある仕事なので、海外出張等も経験しました。



——企画の立ち上げから製品化まで、どのくらいかかるのですか？

(板) 部品の立ち上げから考えてしまうと、4~5か月かかります。

(鈴) 組み立てを行うとなると、2か月前から会議をし始めます。いきなり作り始めてダメなところが見つかる、というのが一番マズいので、少しの量を作ってから量産に入りますが……うーん、最終的に半年くらいですかね。

(板) その会議が大事ですよ。発売日とか、色々な日程が決まるから。

(鈴) カタログに載っている製品も、会議をしていきなり出てくるわけではないんですよ。色々試行錯誤して、その間に部品もたくさん変わって……。

(板) 既存機種でも「この部品が変わりますよ」となると、新しい部品を立ち上げる事には変わらないので……その場合は1年以上かかりますね。



(鈴) ぱっと見では変わらないように見えても、中身が違くと生産まで時間がかかる場合があります。製品が出来上がるまで苦労した分、店頭で並んでいるところを見ると、やっぱり嬉しくなりますね。

(板) それが売れているとなお良いですね (笑)

——入社して良かったと感じるところや、大変なところはありますか。



(板) 山形カシオでは完成品まで作っているの、その過程を実際に見られるところが面白いところかなと。それから、機械の開発や設備の開発など幅広い分野を見られるところも良いですね。

しかし、設備や製品の要素を一つ作るにあたって、ただあてずっぽうで作れる訳ではなく、経験や知識が必要なため、それを考えるのが大変なところでもあります。例えば私のところでは、「G-SHOCK のバンドに新しい材料を使えないかな？」と考えるところまではいいんですが、実際はトライアンドエラーを繰り返しながら「製品として成り立つのかな？」と検証しなければならないので、そこがちょっと大変かなと思います。

(鈴) 就職を決めた理由でもあったんですけど、時計作りに携わってみたいという思いがあって。実際に時計を作る部署に配属されて、そして自分が携わった機種を店頭で見かけたり

すると、「あ、並んでるな」という満足感があります。また、テレビを見ている時に有名人が着けているところを見ると、「あ、あの時計だ」という発見が出来るところがいい点ですね。

それから、私の部署では時計の生産方式や工場での製造方法について他の部署と連携して検討していくのですが、検討段階で「こうすれば傷がつかない」という対策を取って、それが成功した時が嬉しいですね。対策が上手くいかなかった時でも、次の機種にその失敗を生かすことが出来るので決して無駄にはなりません。



大変なところで言えば、山形カシオは生産工場の中心的な役割を担っているため、海外の工場とのやり取りや出張があります。その時には複数機種の生産方法についてやり取りが必要な上、機種ごとの特徴を上手く伝えなければいけないというところが大変です。

——鈴木さんは海外出張をしたと伺いました。どのような形でしたか？

(鈴) 実際に出張したことがあるのはまだ1回で、本当はもう1回あったんですけど、コロナの影響で無くなってしまいました……。

出張では中国に行ったんですけど、国際線に乗るのも初めてで(笑)。その時は先輩と一緒にっていて、色々聞きながらの出張だったので安心でした。現地に行っても日本人のスタッフがいて歓迎してくれましたし、現地のスタッフも、言葉こそ通訳が必要なんですけど歓迎してくれて。夜も食事に連れて行ってとても楽しかったですね。

これが初めての海外での仕事だったんですけど、改めて大変だと感じたのは言葉が通じないというのが結構辛くて……後は、海外は簡単に行ける所じゃないというか、やり忘れた仕事があったら、ちょっと戻って、ということができないところですよ。国内で仕事をしていても取りこぼしは許されないんですけど、なおさら厳しい状況かなという緊張感がありますね。その分、終わった時の達成感は大きかったです。

中国の他にタイにも生産拠点があるので、いつか行ってみたいです。

(2) 職場編

——山形カシオに入社を決めた理由は何でしょうか。



(板) 私は地元が山形市で大学も山形県内だったので、地元で就職したいなと思い、就職活動を始めました。元々G-SHOCKが好きで、「カシオと言えば電卓」という見方もあるようですが、私の中では「カシオと言えばG-SHOCK」でした。自分の好きなG-SHOCKを作っているとい

うのをリクナビのホームページで見て、行ってみようかなと思ったのがきっかけですね。

そして工場見学をした時、他のメーカーでは部品だけを作って、それを本社に送るとというのが一般的であるのに対して、山形カシオでは部品を作る段階から組み立て、完成品の出荷までを一貫して行っているということを知り、魅力を感じました。工学部に通っており、ものづくりに興味があったという事もあって、山形カシオに就職したいなと思いました。

(鈴) きっかけですよね……まず会社を探すにあたって、実家の山形市から通える企業を探していました。

また、大学では機械専攻だったので、学んだ知識を生かせる技術職を探していたんです。色々な企業を見ている中で、山形カシオは時計を生産していることもあり、自分が携わった物が世の中に出るため、自身の成果が見えやすいのがいいなと思いました。また福利厚生もしっかりしている点も魅力的でした。

——社員の皆さんは仲がとても良いように感じます。何か上手くコミュニケーションを取る方法があるんですか？

(板) そうですね……鈴木さんの所は同期の人数が多くて、時計の部署は仲が良いと思います。私の所は最近年の近い人たちが増えたのですが、それまでは年がけっこう離れていて……上手く取る方法か……鈴木さんはどうですか？

(鈴) なんか自然と……社風なんですかね？新人が入ってくると、先輩方も結構かわいがってくれて、飲み会でも色々面倒を見てくれるんですよ。そこから、なんか自然と話すようになっていって、他の課とも密に関わっていくようになって、また話して……段々話しやすくなっていくという感じですかね。なので「自分から何かしていく」というよりは、「周りが



なんとかしてくれる」という感じですね（笑）。

こうした経験があると、自分も後輩に何かしてあげたいと思うようになりますね。後輩が入ったら、先輩がしてくれたようなことを今度は自分がしようと考えています。こうやって繋がっていくという文化なのかなと思いますね。

（板）入社してすぐだと「ブラザー・シスター制度」というものがあります。お兄さん役の先輩社員が、さらに上の人とのパイプになって間を取り持ってくれます。もちろん本人次第の所もありますけど、そこをとっかかりとして徐々に会話が増えていくと言う感じですね。

——その「ブラザー・シスター制度」についてもう少しお聞きしたいんですが、研修の時からブラザー・シスターが決まっているんですか？

（板）研修の時はまだ決まっていません。入社時の研修後に部署に配属されるタイミングでブラザー・シスターと顔合わせします。いきなり20歳以上も歳が離れている人が付いても相談しにくいので、制度としては歳が近い人が付くことになっています。

ブラザー・シスターは相談役というか、必ず仕事に関わる人というわけではなくて、「なんでも相談できるお兄さんお姉さん役」が1年間付いてくれるという感じですね。会社に入ってすぐというのは本当に何もわからないんですよ。コピー一つ取るのもわからないので、気軽に相談できる人がいると本当にありがたいですよ。

（鈴）そうですね。活用させていただいてます（笑）。会社も広く、最初は人の名前もわからないので……。

以前あったこととして、駐車場の自分のスペースに他の車が停まって、しょうが無いのでいつも空いている所に停めたんです。どこに相談すればいいのか困って、とりあえずブラザーに連絡したところ、ブラザーが総務に相談して対応してもらえました。こういう時に相談できる人がいるのはすごくありがたくて、やはりそういう存在は必要ですね。

（板）上の人との人間関係は、まずブラザー・シスターからですね。「今入ってきた人が〇〇さんだよ」という情報もブラザー・シスターから聞いて、少しずつ覚えていくっていう（笑）。

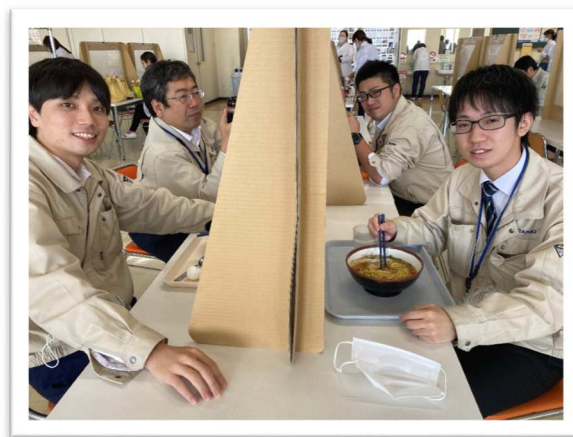
——お二人は新入社員のブラザー側も経験したことがありますか？

(鈴) 私は今年ブラザーに……遂にお兄さんになりました(笑)。

初めてブラザーになって、講習会で「こういう風に接するように」という指導がありました。怒り方や褒め方について、こういう風に接すると働きやすいという環境づくりを外部の講師から学びました。「こういうことを考えながら接してくれてたんだな」とよく分かりました(笑)。今年配属された新人は積極的に話しかけてくれたので、頼られている感があって嬉しかったですね。

(板) そうなんだ。私は去年ブラザーになって、やっぱりお兄ちゃん役の方が大変ですね。「わかってるかな？」とか、辛そうな表情をしてると「何か溜め込んでるのかな？」とか気にしますね。

ずっと仕事の話をしていても大変だと思うので、他愛もない話とか、趣味の話とかをするようにしてあげようかな、とは考えていましたね。私は幸いにも怒る機会はなかったので、そこはよかったかな。



(鈴) まあブラザーは相談役ですからね。業務のことは上司が話しますから。

(板) 逆にブラザーと業務まで丸かぶりしていると大変ですから……やりづらいと言うか、仕事も一緒だと大変だと思いますね。言いたいことが言えなくなっちゃうので、そこは分けられてよかったかなと思いますね。

去年は色々な事を聞かれました。「あの人はどなたですか？」とか、「〇〇という仕事をしてほしいと言われたのですが、これはどうやれば良いですか？」とか。

逆に自分がわからないことは、他のわかる人のところに預けるというガイド役も果たしました。そういった意味での大変さはありませんでしたね。

(3) - 1 ある日の過ごし方編 (板垣さん)

● 8:30 【出社・始業】

スケジュール確認とメールの確認・対応をします。

● 8:45 【課内ミーティング】

週に2回、課内メンバーでそれぞれの業務進捗状況の確認と、今後の進め方や課題のすり合わせを行っています。

ミーティングが終わると、資料作成や開発に関係する試作などの業務を行います。



● 11:45 【お昼休憩】※

休憩時間の過ごし方はその日その日で様々ですが、よくコーヒーを飲んでいきます。

● 12:30 【午後の業務】

資料作成、開発に関わる案件の試作、打ち合わせなどを行います。



● 17:10 【終業・退勤】

仕事が終わったら家に帰って家族と夕食。お酒は欠かせません。

子供が起きている間は、一緒に遊んだりお風呂に入ったりして時間を過ごしています。

(3) - 2 ある日の過ごし方編（鈴木さん）

●8：30 【出社・始業】

スケジュールとメールを確認します。本日用業務や進捗状況について、チームリーダーと会話します。

●8：40 【打ち合わせ準備】

午後に時計新機種に関する会議があるので、新機種の構造を見て、会議資料をまとめます。また、量産するにあたってどのような懸念点があるかを洗い出しておきます。

●12：45 【お昼休憩】※

同期とお昼ご飯を食べます。

私生活等の会話をしてあっという間に終わってしまいます。

●13：30 【新機種打ち合わせ】

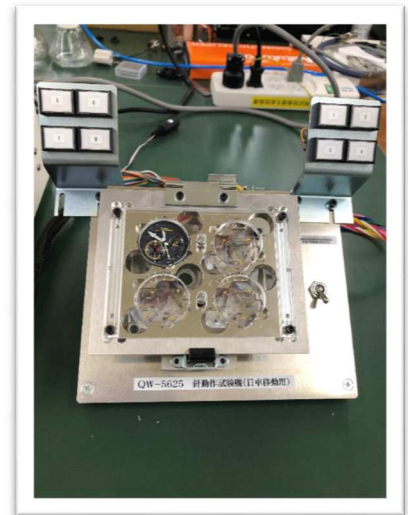
2か月後に生産する時計の新機種について、工程や設備についての検討会を行います。他の課の方たちと共に新機種生産の方向性、問題点などを検討します。

●15：00 【打ち合わせのまとめ】

設備面で手配すべきものをリストに反映させます。
確認事項があった場合は担当者にメールを出します。
新機種業務の推進日程をこの段階で設定します。

●16：00 【治具設計業務】

新機種に使用する治具を設計します。
設計業務は最近始めたばかりなので、先輩に聞きながら進めます。



●17：10 【業務報告・退勤】

本日の業務進捗や報告事項をまとめて、チームリーダーに報告します。
退勤後は、家でゆったり過ごすことが多いです。

※昼休憩はコロナウイルスの感染防止策として、密を避けるために3つのグループに分かれているため、人によって昼休みが異なります。

(4) むらやまでの暮らし編

——現在コロナ禍が続いていますが、職場やご自宅ではどのように過ごされていますか？

(板) 私はスニーカーを集める事が趣味なので、毎月新作のモデルが発売されるかどうかをチェックしていますね。



(鈴) コロナウイルスへの対応として、会社の食堂に仕切りが設けられましたね。家にいる時は、趣味のギターの練習をしています。

——村山地域や山形県の好きなところはありますか？

(板) 私は生まれてからずっと山形に住んでいるので他の県を知らないのですが、自然が多いと言うところが良いですね。特にコロナ禍でショッピングモールに行けなくなった時に、公園が多いので子供と遊ぶことができ、より実感できました。

またお酒や果物などの食べ物が美味しいので、衣食住でストレスなく生活できるところが良いところだと思います。

——ちなみにお酒は何を？

(板) 何でも飲むんですけど……(笑)。ビールや焼酎をよく飲みますね。昨日はビールを飲んでハイボールを飲んで……最後にサワーを飲んでから寝ました(笑)。

(鈴) 私も自然豊かで暮らしやすいところが好きですね。私は人混みが苦手で大都会に行くと気分が悪くなってしまいうのですが、山形は面積当たりの人が少なく……(笑)。過ごしやすいなと自分は思いますね。

あと食べ物が美味しいというのは私も感じています。特にラーメンが好きなので、仕事終わりによく行きます(笑)。仕事を始めてからよく食べに行くようになりました。就職してからは山形市だけでなく、天童市や東根市にも行くようになったんですけど、天童市の道の駅のジェラートは食べますね。まあ、あそこは混んでるんですけど……(笑)。食べ物がおいしいというのは日々感じてますね。

——ラーメンは美味しいですね。おススメはどこですか？

(鈴) 東根市に豚骨ラーメンのお店がありまして、背脂が浮いててすごく美味しいんです。先輩に勧められて行ってみたら、とても感動しました。夜遅くまで開いているので、仕事が終わったら同期と二人でもやしラーメンを食べに行きますね。店のホームページを見ると店主の言葉があり、それによると「関東で感動した1杯があって、山形に豚骨ラーメンを出す店がないから山形に伝えたい」という意気込みを感じて(笑) 是非行ってみてください。

——山形カシオは福利厚生に力を入れていると伺いました。板垣さんに伺いたいのですが、ご結婚されて働きながら実感するところがありますか？

(板) 結婚してなお感じたこともあるのですが、有給が取りやすい所が良いところだと思います。また、私は取っていないのですが、男性でも育児休暇が取りやすい環境なのも良いですね。

入社する時に結婚のことは考えていなかったもので、結婚してから分かったところもあるんですが(笑)。

結婚すると特別休暇も取れるので、それで新婚旅行に行くことができました。子供が生まれた時も特別休暇が貰えたので、役所での手続きも済ませることができました。

——鈴木さんは他県の大学から山形の企業に就職した形になりますが、山形に来て大変だったことはありますか？



(鈴) 生まれは山形なので、Uターンという形での入社となります。県外の方がむしろ住みにくいと言いますか、慣れた土地に帰りたいというのが元々あって。「やっぱり山形に帰りたい」という思いがずっとあり、逆に帰ってきて落ち着いたというのが大きかったですね。

(5) まとめ編

——仕事をしていく中で、今後の目標はありますか。

(板) 月や年単位で変わっていく技術のトレンドを読み取れるようになりたいですね。それと、開発を行う部署にいたので、自分で新しい物を生み出していきたいというのが目標です。

(鈴) 難しいですね……(笑)。入社3年目になって、自分主体で動く業務も出てきました。これまで設備導入はしたことがあるのですが、開発はしたことがなかったんですよ。ただ本社と連携して開発する案件も控えているので、これまで自分の培ってきた技術を生かして取り組んでいきたいと思います。



——貴重な機会なので、お二人のお勧めの機種を教えてください。父にプレゼントしようかなと。

(鈴) (カタログを見ながら) 普段は社内呼称で話しているので、どういう名前で売られているか実は分からないんですよ (笑)。

うーん……「OCEANUS Manta」ですかね。すごい薄型の時計で……自分が携わった時計なんですけど (笑)。立ち上げから携わったので、この時計をお勧めします。



(板) そういう流れで勧めるなら、「FROGMAN」ですね。「FROGMAN」って知ってます? G-SHOCKでもダイバー向けの時計なんですけど、私が携わりました (笑)。

「FROGMAN」シリーズはデジタル時計だったんですが、今回のシリーズから初めてアナログ化したんです。このバンドがフッ素系素材のバンドで、初めてこの素材を採用したんですが、立ち上げにとっても苦労したんです。「OCEANUS」は手が届かないという時は「FROGMAN」で (笑)。余力があればぜひ。

(鈴) 自分が携わった時計は、やっぱりお勧めしたくなりますね。

(板) 知識があるからね (笑)。

——今後、就職活動を行う学生にメッセージをお願いします！

(板) 私が就職活動をしたのは東日本大震災の時なのですが、その時には出来なかった、「色々な企業を見る」ことをやってほしいというのがありますね。今はコロナ禍で大変だとは思いますが、Web 説明会もあるのでそれを活用してほしいです。

自分が好きなことややりたいことを仕事にすれば長続きすると思うので、自己分析でやりたいことを見つけてもらえれば、行きたい企業も見つかるでしょう。今のうちに自己分析にも取り組んでみてください。

(鈴) 板垣さんに似ているのですが、自分に合った会社を選ぶことが大切だと思います。難しい事だとは思いますが、今は企業も様々な情報発信をしているので、情報を集めやすいのではないのでしょうか。最初から絞るのではなく、多くの企業を見てから自分に合った会社を見つけてほしいです。

——ありがとうございました！

お二人ともとてもフレンドリーに質問に答えてくれたのが印象的でした！カシオグループのマザー工場として世界で活躍し、社員の方がいきいきと働く山形カシオの姿がよく感じられたインタビューであり、とても勉強になりました。教えていただいたラーメン屋には今度行ってみようと思います(笑)。そしてお二方の熱い思いが詰まった時計をぜひ自分でも買い、父に贈ってみたいと思います。ありがとうございました！

【インタビュアー：山形大学人文社会科学部 小野誠司、高橋依吹、地域教育文化学部 山岸和】



山形カシオ株式会社

【山形から世界へ！カシオグループのマザーファクトリー！】

グループの生産中枢を担い、最先端の CASIO ブランド商品を世界中に送り出しています。また、独自技術による商品開発も行っており、お客様に新たな価値を創造し続けています。

★日経ものづくり大賞、次世代育成支援認定マーク取得など

- ・所在地 山形県東根市大字東根甲 5400-1
- ・設立 昭和 54 年 10 月
- ・従業員数 610 名（男性 353 名、女性 257 名）
- ・URL <https://www.yamagata-casio.co.jp/>

